新社長挨拶
①モビリティカンパニー
②商品の魅力を磨き上げる
（良い車）
③カーボンニュートラルを
やっていく
（生産などを含め）

■マルチパスウェイになぜ
こだわるのか
世界の事情…電気事情がそれぞれ
誰ひとり取り残さない

・電動車を選ぶ比率
日本は 47%がハイブリッドなど 1.4 %が電気自動車
ハイブリッドを組み合わせながら

●100 台の車をつくるために　CO_2はどうなる
電気自動車 1 台に使われるリチウム（資源）… ハイブリッド車にすると同じリチウムで 90 台分
合理性として、CO_2 はかなり下がる
リチウムを効果的に使っていく

■重要■
車 1 台　作られる時の CO_2
　　燃料をつくる時の CO_2
　　走る時に出る CO_2

・電気自動車が走るための「電気」を作るときの CO_2は？
電気を作る手段により CO_2が多く出る場合も
電気が CO_2を必要とする国もある

・製造業としての局面（CO_2を出さないように）
“ヤリス”は岩手でも生産
しかし、製造時の CO_2を減らそうとしたら生産拠点は海外などへ流出してしまう（岩手では火力発電、フランスでは原子力発電）
自動車関連の就労構造にも影響が

■なぜ水素に力を入れるのか
・エネルギー自給
水素H_2 + 酸素 O_2 → 電気　水が出る

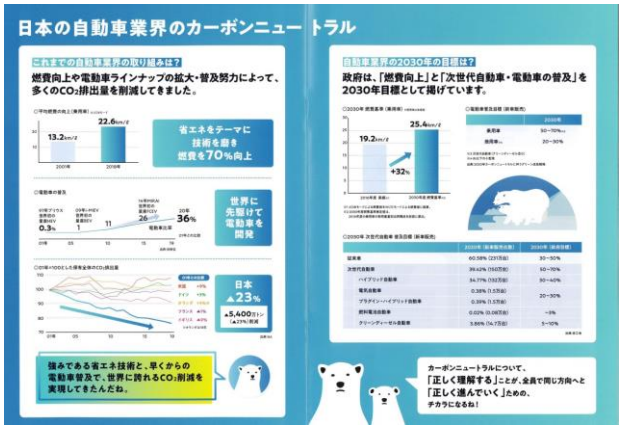
水素の電気を運ぶ能力
・バッテリーは劣化していく、大きいものが必要となる
・水素にすれば安定的に運べる

商用車に水素を強化していきたい
航続距離が長くなると、バッテリーが大きくなる…
水素はかさばらない

商用車をふやす→水素ステーションを増やす
バス、小型・大型トラックにも取り組んでいる

水素での物流　福島・東京・大阪・名古屋
福島県浪江町に水素製造プラントがある
水素バリューチェーン

暮らしの中に水素を
キッチンカー、フォークリフト、船などにも

●水素を燃やす水素エンジン車にトライ
コスト低減に

埼玉県は水素ステーションが日本で 3 番目に多い
環境
ぜひ興味をお持ちください